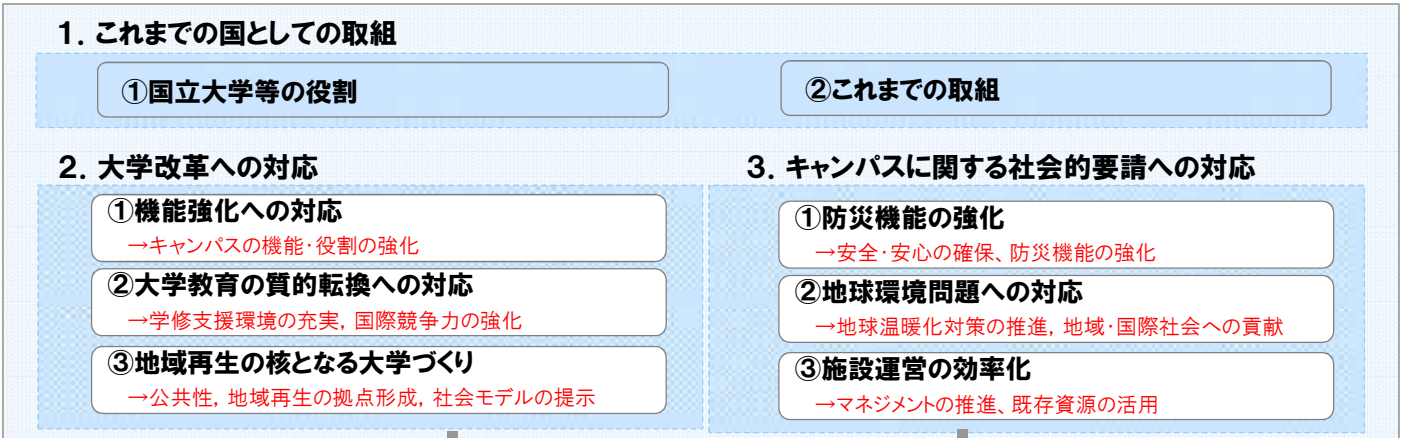


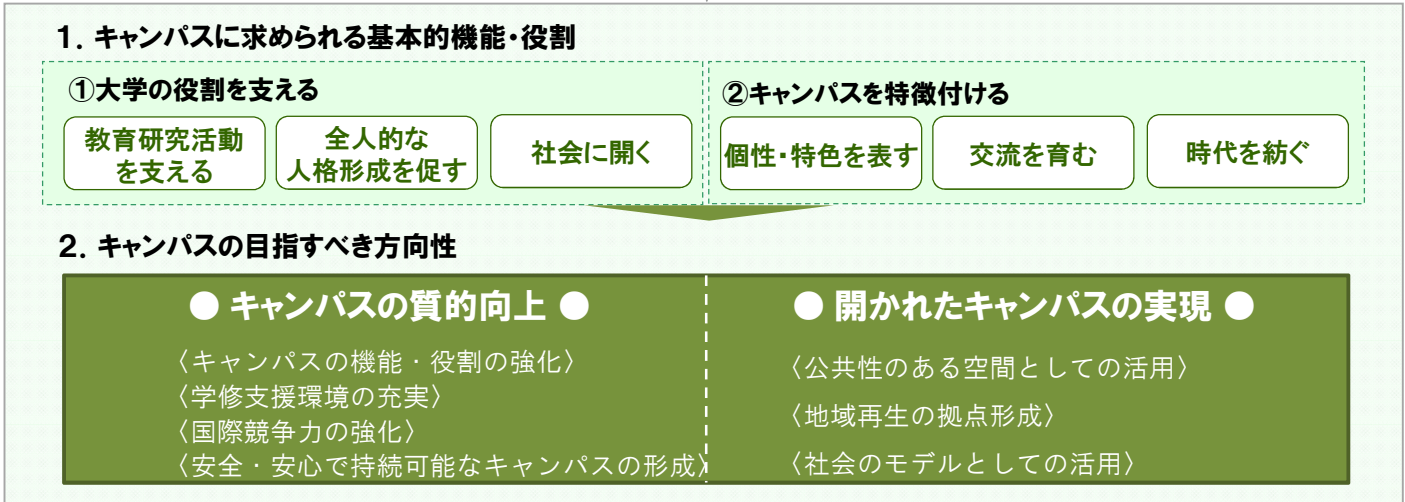
「キャンパスの創造的再生～社会に開かれた個性輝く大学キャンパスを目指して～」報告書（概要）

平成25年3月 国立大学等のキャンパス整備の在り方に関する検討会

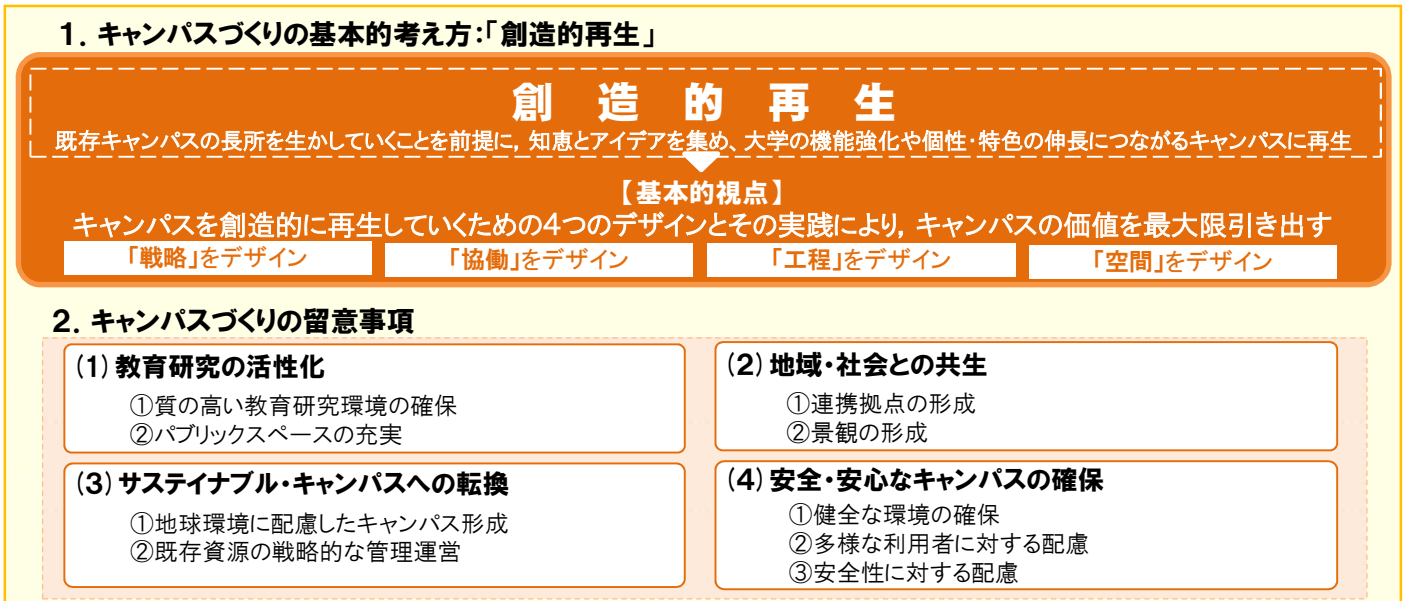
第1章 キャンパスに関する取組と今日的課題



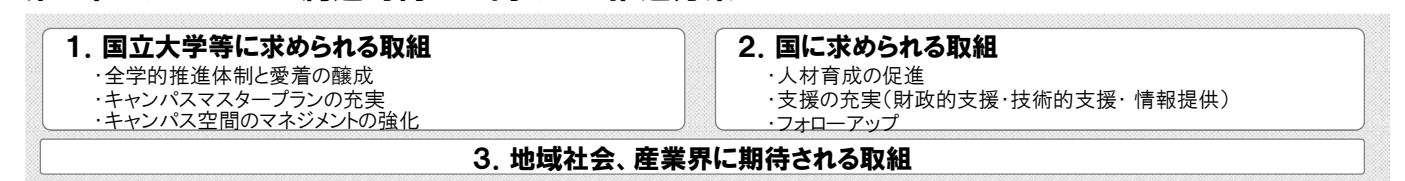
第2章 キャンパスの目指すべき方向性



第3章 今後のキャンパスづくりの在り方



第4章 キャンパスの創造的再生に向けての推進方策



キャンパスの創造的再生

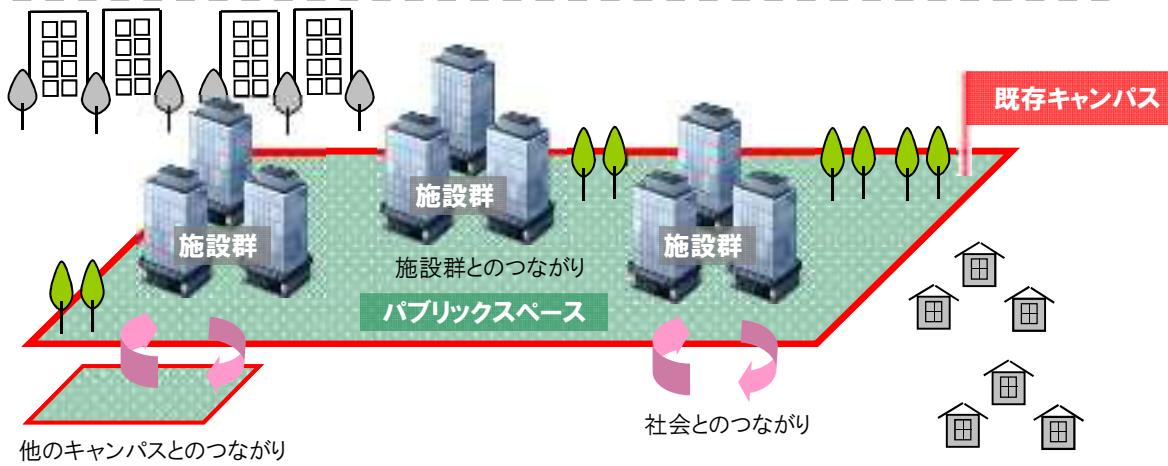
キャンパスの目指すべき方向性

キャンパスの質的向上

開かれたキャンパスの実現

キャンパスづくりの基本的考え方:「創造的再生」

既存キャンパスの長所を生かしていくことを前提に、知恵とアイデアを集め、大学の機能強化や個性・特色の伸長につながるよう、キャンパスを創造的に再生



創造的再生の基本的視点:「4つのデザイン」

キャンパスを創造的に再生していくための4つのデザインとその実践により、キャンパスの価値を最大限引き出す

「戦略」をデザイン

ミッションを踏まえ、既存キャンパスを再評価し、創造的再生の戦略をデザインする

「協働」をデザイン

キャンパスの価値を維持・向上させていくため、学内外関係者との協働の仕組みをデザインする

「工程」をデザイン

キャンパスの将来像を組織的・段階的に実現させていくための工程をデザインする

「空間」をデザイン

大学の役割を支える空間に加え、キャンパスを特徴付ける空間を、意図的にデザインする

教育研究の活性化



学生による協働学修の場の充実(中央図書館情報ラウンジ)

キャンパスへの転換



周辺環境と調和するよう壁面を緑化し、生きた教材としても活用(建築学棟)



(横浜国立大学 常磐台キャンパス)



大学へのアプローチ部分を開放的な空間に改善(正門アプローチ広場)

地域・社会との共生



室用途に配慮し、棚兼用の格子鋼板耐震壁による補強(建築学棟図書館閲覧室)

キャンパス全体の安心の確保

キャンパスの創造的再生を段階的に進め、それらを連鎖させてキャンパス全体の再生につなげていく